第11回　北上川上流大規模氾濫減災協議会

資料2

北上川上流取組方針の取組状況について
（令和3年度～令和7年度取組状況）

令和8年2月9日

岩手河川国道事務所

国土交通省

北上川上流の減災に係る取組方針　減災のための目標

５年間で達成すべき目標

舟運文化により沿川に形成された市街地の水害リスクが高い北上川上流において、家屋浸水した平成14年7月、平成19年9月洪水や、平成25年の局所的大雨による洪水等、これまでの教訓を踏まえ、発生しうる大規模水害※に対し「避難する・防災力を育てる・地域を守る」ことで、氾濫被害の最小化を目指す。

○避難する・・・・・・・・流域住民が主体的に水害リスクを把握し、人命を守ること。
○防災力を育てる ・・地域防災力を維持・継続・強化すること。
○地域を守る・・・・・・水防団が実施する水防活動や河川管理者が実施する排水活動等に加え、
流域住民や各施設管理者も参画し、地域の人命と財産を守ること。

※大規模水害…想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

目標達成に向けた３本柱の取組

Ⅰ.安全な避難行動のための取組
Ⅱ.地域防災力を維持・継続・強化するための取組
Ⅲ.人命と財産を守るための取組

北上川上流の減災に係る取組方針　令和3年度～令和7年度取組状況

●現行取組方針における目標期間内（令和3年度～令和7年度の概ね5年間）の取組状況のフォローアップとして、以下の考え方で項目毎の達成（進捗）状況を数値化。

R3～R7取組のフォローアップ及び評価方法

【各取組項目のフォローアップ】

◆目標

・毎年度（出水期前）、各取組項目に対する目標を、関係機関毎に以下の4段階で設定。

◎：実施　、　〇：検討・計画　、　－：未定　、　／：対象外

◆対応状況

・当該年度の対応状況（実績）を、関係機関毎に同4段階で評価。

【各取組項目の評価：達成（進捗状況）の数値化】

・上記のフォローアップ結果を基に、以下の考え方で項目毎の達成（進捗）状況を数値化。

$$\text{達成率（\%）} = \frac{\text{対応状況（ ◎実施 ）}}{\text{目標（ ◎実施 ＋ 〇検討・計画 ＋ －：未定 ）}}$$

Ⅰ. 安全な避難行動のための取組

北上川上流の減災に係る取組方針（主な取組の考え方）

北上川上流では、住民自らが主体的な避難行動をとり、早めに確実に避難することが重要である。

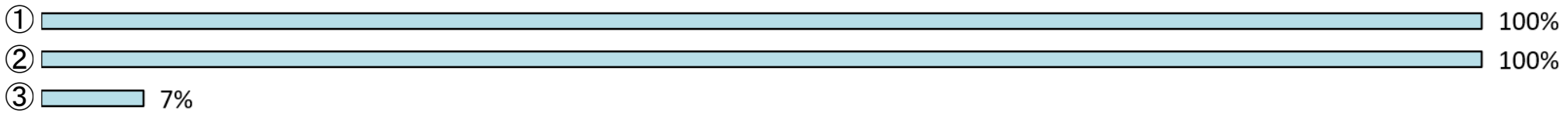
それを実現するためには、住民の防災意識の向上や防災知識の普及を図るとともに避難行動に直結するような情報の充実が必要である。

また、円滑な避難や的確な水防活動及び早期の復旧を実現するための体制整備を関係機関が連携して行う必要がある。

■ 水害リスクに関する情報提供等の充実

・取組項目及び実施状況

番号	取組項目	取組機関	各機関における主な取組（R3～R7）及び達成率		次期取組との関連 ※〇数値：次期取組番号
①	ホットライン連絡体制の構築	全構成機関	・年度当初または出水期前までに連絡体制の確認を実施。	100%	継続 （①）
②	水位周知河川の指定拡大	岩手県	・令和7年5月27日までに12河川を指定、令和7年度末までに追加で4河川指定予定。	100%	変更 （②）
③	広域避難を含む連携体制の検討	岩手河川国道事務所 岩手県、市町	・避難所の収容人数の確認。 ・隣接市町と広域避難について連絡体制等の検討・調整を予定。	7%	継続 （③）



■ 水害リスクに関する情報提供等の充実

・取組項目及び実施状況

番号	取組項目	取組機関	各機関における主な取組（R3～R7）及び達成率		次期取組との関連 ※〇数値：次期取組番号
④	想定最大規模降雨による水害リスク（浸水想定区域図）の作成・公表	岩手河川国道事務所 岩手県	・北上川水系で151河川を指定済み。 ・令和7年度末までに、北上川水系5河川を追加で指定予定。	100%	変更 （④）
⑤	ダム下流部における想定最大規模降雨による浸水想定図の作成	岩手県	・ダム下流も含めて浸水想定区域図を作成・指定済み。	100%	廃止
⑥	想定最大規模降雨によるハザードマップや水害リスクに関する情報の住民周知	市町	・ハザードマップの配布、ホームページやコミュニティFM等で情報発信するほか、住民への説明を防災講座や防災学習会等で実施。	76%	現行⑥、⑦を統合 （⑤）
⑦	洪水による浸水実績等の住民周知	市町	・防災マップの更新を実施し、防災講座や市町のホームページ等で随時周知。	72%	現行⑥、⑦を統合 （⑤）



Ⅰ．安全な避難行動のための取組

■ 水害リスクに関する情報提供等の充実

・取組項目及び実施状況

番号	取組項目	取組機関	各機関における主な取組（R3～R7）及び達成率		次期取組との関連 ※〇数値：次期取組番号
⑧	「まるごとまちごとハザードマップ」の現地表示の拡大・促進	岩手河川国道事務所 岩手県、市町	・避難誘導標識（浸水深標識）を更新し、有効性や設置箇所の検討、地域防災計画への記載を実施。	29%	継続 （⑥）
⑨	河川監視カメラの画像・映像などの災害情報の積極的な配信の充実	岩手河川国道事務所 岩手県	・ホームページ及び川の防災情報で提供済み。 ・簡易型カメラを6基設置する等、設置箇所を拡充。	100%	継続 （⑦）
⑩	雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況や災害情報を把握・伝達・共有するための基盤整備の強化	岩手河川国道事務所 岩手県	・危機管理型水位計を2河川（うち、北上川水系2河川）に設置した他、5箇所を更新済み。 ・簡易型河川監視カメラ9箇所を更新済み。 ・水位計を計5河川（うち、北上川水系2河川）に設置。	100%	変更 （⑧）
⑪	住民への情報伝達体制の充実	市町	・携帯電話等を持っていない一人暮らしの高齢者等で戸別受信機の配布を希望する人に対し配布。 ・防災講話及びイベント等において防災アプリ及び登録制メールやLINEの登録の依頼を行い、加入者数の増加に取り組む。 ・防災ﾗｼﾞｵ普及を継続実施。	71%	継続 （⑩）



■ 水害リスクに関する情報提供等の充実

・取組事例

①ホットライン連絡体制の構築【JR東日本　盛岡支社】

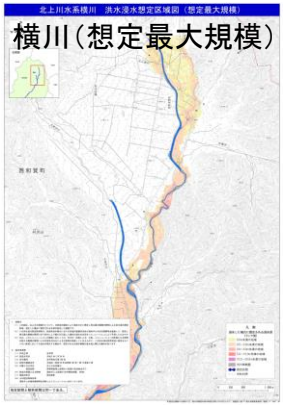
○台風・低気圧の時期前までに迅速かつ的確な防災体制が図れるよう、関係自治体等の連絡先の確認を進めた。



ハザードマップを確認後、関係自治体等に予測を確認

④想定最大規模降雨による水害リスク（浸水想定区域図）の作成・公表【岩手県】

○洪水浸水想定区域の指定を実施した。



⑥想定最大規模降雨によるハザードマップや水害リスクに関する情報の住民周知【盛岡市】

○総合防災訓練、出前講座、市広報を通して、地域住民に対して水害リスクや避難に関する情報のさらなる周知を図った。



市総合防災訓練



市広報による周知

⑥想定最大規模降雨によるハザードマップや水害リスクに関する情報の住民周知【北上市】

○新しいハザードマップを全戸配布し、見方等の住民説明会を開催し、地域住民に対してさらなる周知を図った。



更新したハザードマップ



住民説明会の開催

■ 住民自らが避難行動を行うために必要な情報提供の充実

・取組項目及び実施状況

番号	取組項目	取組機関	各機関における主な取組（R3～R7）及び達成率		次期取組との関連 ※〇数値：次期取組番号
⑫	ICTを活用した洪水、防災に関する各種情報発信の充実	全構成機関	・SNS、HP、記者発表等を通じダム情報の発信を実施。 ・HP、緊急速報メール、防災アプリ等を活用し、緊急度に応じた各種情報の配信を継続。	73%	継続 （⑪）
⑬	局地化、集中化、激甚化する雨の降り方に対応した防災情報の充実	盛岡地方気象台	・令和6年5月より「線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ」の府県単位運用を開始。 ・令和8年出水期を目途とした「防災気象情報の体系整理」を行うため、周知・各種計画修正の支援等を実施。	100%	継続 （⑫）
⑭	住民の避難行動につながるダム放流情報の充実	北上川ダム統合管理事務所、岩手県	・AI等を活用した洪水予測システムの精度向上・改良を実施。 ・流入量予測システムを試験運用。	100%	変更 （⑬）



■ 住民自らが避難行動を行うために必要な情報提供の充実

・取組事例

⑫ICTを活用した洪水、防災に関する各種情報発信の充実【東北運輸局鉄道部】

〇東北運輸局ホームページで公共交通機関の運行情報を発信した。
〇各鉄道事業者に対し気象等に関する情報を提供した。



実施例

⑬局地化、集中化、激甚化する雨の降り方に対応した防災情報の充実【盛岡気象台】

平常時は「気象防災ワークショップ」による防災知識の普及啓発など、緊急時は各種情報提供を実施した。

平常時



ワークショップの様子

緊急時

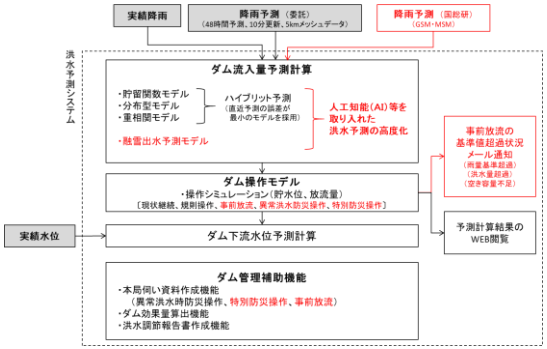


岩手県風水害対策支援チームへの職員の派遣

⑭住民の避難行動につながるダム放流情報の充実【北上川ダム統管】

AI等を活用したダム流入量の予測精度向上について検討を実施した。

【システム内容】
黒文字：従来
赤文字：改良箇所



改良のイメージ

Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

北上川上流の減災に係る取組方針（主な取組の考え方）

北上川上流では、住民自らが主体的な避難行動をとり、早めに確実に避難することが重要である。

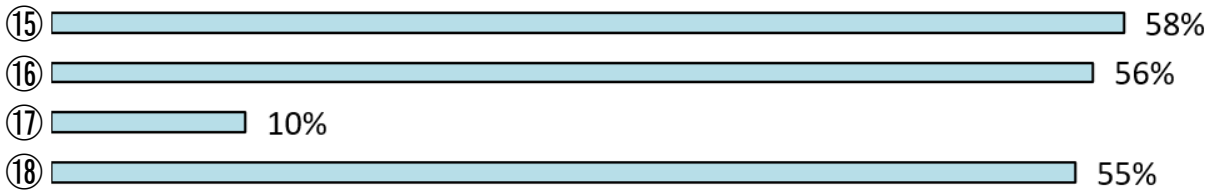
それを実現するためには、住民の防災意識の向上や防災知識の普及を図るとともに避難行動に直結するような情報の充実が必要である。

また、円滑な避難や的確な水防活動及び早期の復旧を実現するための体制整備を関係機関が連携して行う必要がある。

■ PDCAサイクルを取り入れた自助・共助・公助の連携

・取組項目及び実施状況

番号	取組項目	取組機関	各機関における主な取組（R3～R7）及び達成率		次期取組との関連 ※〇数値：次期取組番号
⑮	水害対応「タイムライン」の改善や見直し	岩手河川国道事務所 北上川ダム統合管理事務所、気象台 岩手県、市町	・避難情報の改正に伴う確認やタイムラインの見直しを実施。	58%	現行⑮、⑯、⑰を統合（⑭）
⑯	県管理河川における水害対応「タイムライン」作成	岩手県、気象台 市町	・新規指定された水位周知河川を含め、タイムラインの確認や見直しを実施。	56%	現行⑮、⑯、⑰を統合（⑭）
⑰	「多機関連携型タイムライン」を順次展開	全構成機関	・流域タイムラインを作成し、幹事会及び協議会にて照会・見直しを実施。	10%	現行⑮、⑯、⑰を統合（⑭）
⑱	「マイ・タイムライン」の普及促進	岩手河川国道事務所 岩手県、市町	・自治体の住民説明会でリスク情報を説明。 ・出前講座等での周知・啓発。	55%	変更（⑮）



■ PDCAサイクルを取り入れた自助・共助・公助の連携

・取組項目及び実施状況

番号	取組項目	取組機関	各機関における主な取組（R3～R7）及び達成率		次期取組との関連 ※〇数値：次期取組番号
⑲	要配慮者利用施設等の「避難確保計画の作成」及び「避難訓練」の促進	岩手河川国道事務所 岩手県、市町	・避難訓練等の支援、計画策定、避難訓練の実施に向け通知及びアドバイスを実施。 ・岩手県総合防災訓練では、医療的ケア児の避難訓練を実施。	64%	継続 （⑯）
⑳	住民参加型の実践的な訓練の実施	岩手河川国道事務所 気象台、岩手県、市町	・実動による実践的な避難訓練や避難所開設訓練を実施。	59%	継続 （⑰）
㉑	要配慮者利用施設等の所管部局との連携、共助の仕組み強化	岩手河川国道事務所 岩手県、市町	・社会福祉施設職員への水害時の行動等に関する講座を実施。 ・関係部署との情報共有、連携の充実強化を実施。	54%	継続 （⑱）
㉒	地域包括センター、避難所及び集会所にハザードマップ等の水害リスクの掲示	市町	・地域包括支援センターへのハザードマップの掲示。 ・避難所、集会所等へ防災マップを配布。	68%	継続 （⑲）



Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

■ PDCAサイクルを取り入れた自助・共助・公助の連携

・取組事例

⑱「「マイ・タイムライン」の普及促進」【北上市】

○市で作成した「水害時マイ・タイムライン」の周知・啓発を行った。



マイ・タイムラインの作成研修
（講師：防災士 荒屋敷氏）



市HPにオリジナルのバナーを作成

⑳住民参加型の実践的な訓練の実施【八幡平市】

○中学生と地域住民共同による避難所開設訓練を実施した。



避難所開設訓練の様子

⑳住民参加型の実践的な訓練の実施【金ケ崎町】

○自主防災組織内での災害時の声掛けや集団での避難訓練を実施するとともに避難所開設訓練などを実施し災害に備えた。



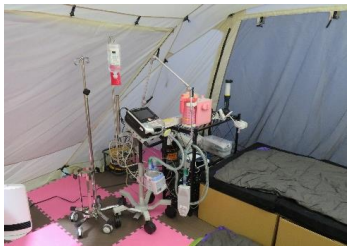
避難所開設訓練



防災グッズ紹介の様子

㉑要配慮者利用施設等の所管部局との連携、共助の仕組み強化【矢巾町】

○要配慮者用(医療的ケア児主対象)の避難所モデルを作成・公開し、要配慮者とその家族の避難所受け入れ体制の基礎を確立した。



医療的ケア児用の避難スペース

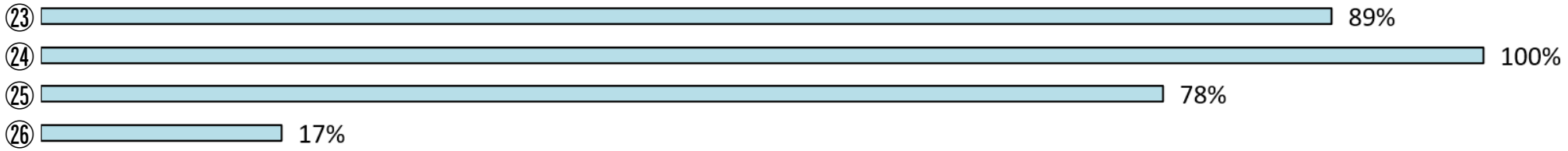


入浴（シャワー）スペース

■ 正しい知識の周知・定着

・取組項目及び実施状況

番号	取組項目	取組機関	各機関における主な取組（R3～R7）及び達成率		次期取組との関連 ※〇数値：次期取組番号
㉓	水害リスク（ハザードマップ）や防災に関する知識の普及	岩手河川国道事務所 北上川ダム統合管理事務所、気象台 岩手県、市町	・出前講座、水防訓練等を通じ水害リスクや防災知識の普及活動を実施。 ・防災マップ（冊子版・WEB版）の更なる普及を促進。	89%	変更 （⑳）
㉔	ダムや堤防など防災施設に関する知識の普及	岩手河川国道事務所 北上川ダム統合管理事務所、岩手県	・出前講座や訓練、ホームページ等により、河川管理施設の機能や効果について説明し、知識の普及を促進。	100%	変更 （㉑）
㉕	教育関係者との連携した防災に関する知識習得の強化	岩手河川国道事務所 気象台、岩手県 市町	・盛岡地方気象台と連携した気象防災ワークショップの実施による市町村職員の災害対応力の向上を促進。 ・関係課等と連携し、学校等における防災教育（出前講座）を実施。	78%	変更 （㉒）
㉖	自然災害伝承碑登録及び活用の推進	岩手河川国道事務所 関係市町	・関係機関へ登録に関する情報提供を実施。	17%	継続 （㉓）



Ⅱ. 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

■ 正しい知識の周知・定着

・取組事例

㉓水害リスク（ハザードマップ）や防災に関する知識の普及【岩手町】

〇総合防災訓練で、自主防災組織や地域住民に防災知識の普及を図った。



総合防災訓練の様子

㉓水害リスク（ハザードマップ）や防災に関する知識の普及【平泉町】

〇町内21自主防災会を中心に防災・減災を学ぶ研修会を開催しながら、地域住民の連携による避難行動の迅速化と地域防災力の強化を図った。



地域防災力の強化を図るための研修会の開催

㉔ダムや堤防など防災施設に関する知識の普及【北上川ダム統管】

〇各地区の防災訓練への参画や出前講座など、地域防災力を強化するための取組を引き続き実施した。



出前講座実施状況



ダム見学実施状況

㉕教育関係者との連携した防災に関する知識習得の強化【滝沢市】

〇学校を対象に防災学習を実施し、災害リスクや備蓄品の準備について理解を深めることで、災害に対する備えの強化を図った。



学校を対象に防災学習を開催

Ⅲ. 人命と財産を守るための取組

北上川上流の減災に係る取組方針（主な取組の考え方）

北上川上流では、住民自らが主体的な避難行動をとり、早めに確実に避難することが重要である。

それを実現するためには、住民の防災意識の向上や防災知識の普及を図るとともに避難行動に直結するような情報の充実が必要である。

また、円滑な避難や的確な水防活動及び早期の復旧を実現するための体制整備を関係機関が連携して行う必要がある。

■ 人命と財産を守るための取組

・取組項目及び実施状況

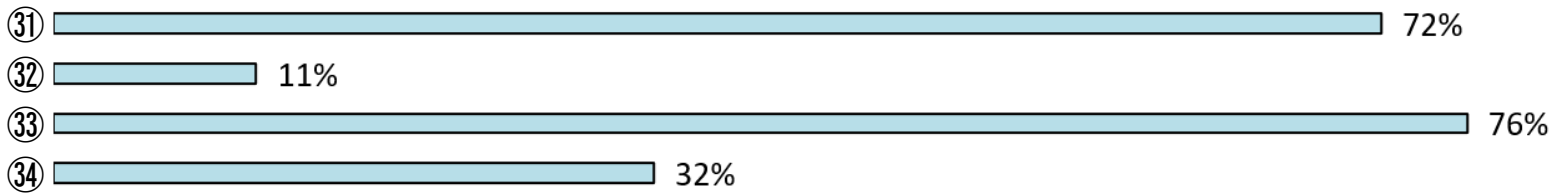
番号	取組項目	取組機関	各機関における主な取組（R3～R7）及び達成率		次期取組との関連 ※〇数値：次期取組番号
㉗	水防団や地域住民への洪水に対するリスクが高い箇所（重要水防箇所など）の確実な伝達	岩手河川国道事務所 気象台、岩手県 市町	・重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者と水防活動関係者との共同点検を実施した。 ・水防演習の実施により、水防技術・知識の取得を促進。	79%	現行㉗、㉙を統合 （㉔）
㉘	水防体制の確保、強化を図る継続的な取組の充実	市町	・水防（消防）団員の募集をイベントや広報誌等で継続実施。 ・水防団との情報共有、連絡、連携体制の強化を促進。	87%	継続 （㉕）
㉙	水防訓練などの演習、訓練の充実	岩手河川国道事務所 北上川ダム統合管理事務所、気象台 岩手県、市町	・洪水対応演習や排水ポンプ車訓練、警報訓練など関係機関と連携し実施。	77%	現行㉗、㉙を統合 （㉔）
㉚	水防団間での連携、協力の充実	岩手河川国道事務所 岩手県、市町	・水防団等への連絡体制、情報伝達方法の確認、見直しを実施。	81%	継続 （㉖）



■ 人命と財産を守るための取組

・取組項目及び実施状況

番号	取組項目	取組機関	各機関における主な取組（R3～R7）及び達成率		次期取組との関連 ※〇数値：次期取組番号
㉛	浸水想定区域にある重要施設などへの情報伝達の充実	岩手河川国道事務所 岩手県、市町	・対象となる施設の把握、各関係者との情報共有・連絡体制を確認。	72%	継続 （㉗）
㉜	浸水被害軽減地区の指定	岩手河川国道事務所 岩手県、市町	・被害軽減地区となり得る候補地の検討を実施。	11%	廃止（統合） （㉚）
㉝	水防資機材等の確認・補充・強化を実施、河川防災ステーションの活用	岩手河川国道事務所 岩手県、市町	・配備されている水防資機材の確認と補充を実施。	76%	継続 （㉘）
㉞	浸水想定区域における防災拠点や排水機場、災害拠点病院等の機能性確保、耐水化	岩手河川国道事務所 岩手県、市町、鉄道	・浸水想定区域内の防災拠点、排水機場、災害拠点病院等の施設の把握。 ・把握した施設の非常用電源・耐水化の確認及び対策の検討を実施。	32%	継続 （㉙）



■ 人命と財産を守るための取組

・取組事例

⑰水防団や地域住民への、洪水に対するリスクが高い箇所（重要水防箇所など）の確実な伝達【岩手河国】

○水防活動関係者と重要水防箇所合同巡視を行い、危険箇所の情報共有を行った。



訓練の様子①



訓練の様子②

㉙水防演習などの演習、訓練の充実【北上川ダム統管】

○緊急効果音を追加した緊急放流（異常洪水時防災操作）時の放流警報訓練を防災担当者及び地域の方々と実施した。



自治体職員との訓練・意見交換



地域住民等との訓練・意見交換

㉙水防訓練などの演習、訓練の充実【雫石町】

○北上川上流盛岡地区合同水防訓練において、水防技術の向上を図った。



北上川上流盛岡地区水防訓練

㉞浸水想定区域における防災拠点や排水機場、災害拠点病院等の機能性確保、耐水化【東北運輸局】

○鉄道施設の災害復旧に係る事業間連携に関する連絡調整会議を開催した。





鉄道施設の災害復旧に係る連絡調整会議の模様